

授業科目等の概要

(工業専門課程一級自動車工学科)														
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	授業方法				場所		企業等との連携
								単位数	講義	演習	実験・実習	校内	校外	
	○			自動車工学 (エンジン構造 1A)	4ストローク1サイクルガソリンエンジンおよびディーゼルエンジンの構造、作動(本体、潤滑、冷却、制御等)の理解。	1前	25.2	○			○			
	○			自動車工学 (エンジン構造 1B)	4ストローク1サイクルガソリンエンジンおよびディーゼルエンジンの構造、作動(本体、潤滑、冷却、制御等)の理解。	1前	18	○			○			
	○			自動車工学 (自動車工学 1A)	自動車の基本的な構造、構成部品を理解と、力学や数学、図面などの理解を図る。	1前	14.4	○			○			
	○			自動車工学 (自動車工学 1B)	自動車の基本的な構造、構成部品を理解と、力学や数学、図面などの理解を図る。	1前	16.2	○			○			
	○			自動車工学 (自動車工学 1C)	自動車の基本的な構造、構成部品を理解と、力学や数学、図面などの理解を図る。	1後	16.2	○			○			
	○			自動車工学 (自動車工学 1D)	自動車の基本的な構造、構成部品を理解と、力学や数学、図面などの理解を図る。	1後	16.2	○			○			
	○			自動車工学 (シャシ構造 1A)	動力伝達装置(トランスミッション、ディファレンシャル、サスペンション等)を構成する各機構の構造、差動の理解。	1前	28.8	○			○			
	○			自動車工学 (シャシ構造 1B)	動力伝達装置(トランスミッション、ディファレンシャル、サスペンション等)を構成する各機構の構造、差動の理解。	1前	23.4	○			○			
	○			自動車工学 (電装品構造 1A)	自動車の電気・電子の基礎理論と計算、計器・装置(充電、始動、点火等)の構造、差動の理解。	1前	14.4	○			○			
	○			自動車工学 (電装品構造 1B)	自動車の電気・電子の基礎理論と計算、計器・装置(充電、始動、点火等)の構造、差動の理解。	1前	21.6	○			○			
	○			自動車工学 (エンジン構造 1C)	4ストローク1サイクルガソリンエンジンおよびディーゼルエンジンの構造、作動(本体、潤滑、冷却、制御等)の理解。	1後	19.8	○			○			
	○			自動車工学 (エンジン構造 1D)	4ストローク1サイクルガソリンエンジンおよびディーゼルエンジンの構造、作動(本体、潤滑、冷却、制御等)の理解。	1後	14.4	○			○			
	○			自動車工学 (シャシ構造 1C)	動力伝達装置(トランスミッション、ディファレンシャル、サスペンション等)を構成する各機構の構造、差動の理解。	1後	23.4	○			○			
	○			自動車工学 (シャシ構造 1D)	動力伝達装置(トランスミッション、ディファレンシャル、サスペンション等)を構成する各機構の構造、差動の理解。	1後	23.4	○			○			
	○			自動車工学 (電装品構造 1C)	自動車の電気・電子の基礎理論と計算、計器・装置(充電、始動、点火等)の構造、差動の理解。	1後	18	○			○			
	○			自動車工学 (電装品構造 1D)	自動車の電気・電子の基礎理論と計算、計器・装置(充電、始動、点火等)の構造、差動の理解。	1後	23.4	○			○			
	○			整備機器取扱い 1A	自動車を整備する上での工具、測定具(ノギスマイクロメータ、ダイヤルゲージ等)の構造、取り扱い、保守等の理解。	1前	12.6	○			○			
	○			整備機器取扱い 1C	①作業用機器 ②エンジン点検・調整機器 ③電気装置検査・調整機器、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解。	1後	14.4	○			○			
	○			お客さま対応授業1	・就職先の日産販売会社で即戦力となれるように日産対応スタンダードを身に付ける。 ・社会人として通用する接客の基本を身に付ける。	1前	14.4	○			○			
	○			基礎計算確認試験	・国家試験に出題される計算問題を解けるようにする ・解ける(分かる)喜びを体感し学習意欲を促進する。	1前後	5.4	○			○			
	○			学科統一試験	・国家二級資格に向けて学習の合いを定期的に確認する	1前後	3.6	○			○			
	○			就職授業	就職活動に向けて年間を通して計画的に準備を行う。 ・社会に出る前の準備として職業観及び就労観の醸成を図る。 ・日産販売会社、TSの仕事の日産の歴史などについて学ぶ。	1通期	9	○			○			
	○			自動車整備作業 (エンジン分解組立1)	1. 分解作業によりエンジンの構造を理解し、分解した部品の作動役割を理解する。 2. 組立作業により各部品の締め付けトルクを理解する。	1前	28.8				○	○	○	
	○			自動車整備作業 (エンジン分解組立2)	1. 分解作業によりエンジンの構造を理解し、分解した部品の作動役割を理解する。 2. 組立作業により各部品の締め付けトルクを理解する。	1前	28.8				○	○	○	

